

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		元年度	30年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	23,303	22,479	824	3.6
消防費歳出総額(b)		1,151	1,126	25	2.2
(b)/(a)%		4.9	5.0		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	23,003	22,185	818	3.6
消防費歳出総額(d)		952	933	19	2.0
(d)/(c)%		4.1	4.2		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、酒々井町（7.4%）が最も高く、次いで御宿町（7.2%）、木更津市・佐倉市（7.0%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における令和元年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、芝山町（41,309円）が最も高く、次いで御宿町（38,432円）、鋸南町（37,300円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、芝山町（117,056円）が最も高く、次いで大多喜町（89,997円）、御宿町（87,425円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		27	28	29	30	元
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	42,838	41,397	43,036	41,679	41,966
住民1人あたり		17,895	17,489	18,182	18,014	18,366
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	35,533	33,825	35,652	34,527	34,732
住民1人あたり		14,844	14,290	15,062	14,923	15,200

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は59%である。

令和元年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

